安全データシート

LOCTITE SF 7452 B0100MLEN/CH/JP

ヘンケルジャパン株式会社

SDS No. : 687254
V001.1
改訂: 19.11.2021
発行日: 28.04.2025

１． 化学物質等及び会社情報

製品コード： 2733434
製品名: LOCTITE SF 7452 B0100MLEN/CH/JP

推奨される用途 ： アクチベーター

会社名：
ヘンケルジャパン株式会社
東京都品川区東品川2-2-8
スフィアタワー天王洲 14F
140-0002
電話番号： +81 (45) 758-1800

２． 危険有害性の要約

GHS分類 ：

危険有害性クラス	危険有害性区分	標的臓器
引火性液体	区分 2	
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2	
特定標的臓器毒性 － 単回暴露	区分 3	中枢神経系

GHSラベル要素:

絵表示:

注意喚起語: 危険

危険有害性情報: H225 引火性の高い液体及び蒸気。
H319 強い眼刺激。
H336 眠気又はめまいのおそれ。

安全対策 P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。
P233 容器を密閉しておくこと。
P240 容器を接地しアースを取ること。
P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
P242 火花を発生させない工具を使用すること。
P243 静電気放電に対する措置を講ずること。
P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
P264 取扱い後はよく手を洗うこと。
P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P280 保護手袋、保護眼鏡及び保護面を着用すること。

応急措置: P303+P361+P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
P304+P340+P312 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分がわるいときは医師に連絡すること。
P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337+P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
P370+P378 火災の場合：乾燥砂、粉末消火薬剤または水溶性液体用泡消火薬剤を使用する。

保管: P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P405 施錠して保管すること。

廃棄: P501 廃棄するときは、適用法令、及び製品特性に従い、適切な処理・廃棄施設に内容物／容器を廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

３．組成、成分情報

単一製品･混合物： 混合物

危険有害成分及び濃度

成分	wt%
アセトン	>= 90 - <= 100 %

４．応急処置

皮膚にかかった場合： 汚染された衣類や靴を脱ぐこと
直ちに多量の水で（可能であれば石けんと）洗うこと
再使用する場合には洗濯をすること
発症したり症状が持続する場合、医師の診察を受けること。

眼に入った場合： 直ちに流水でまぶたを指で広げて15分以上洗うこと。
医師の診察を受けること

飲み込んだ場合： 無理に吐かせないこと
意識の無い場合口から何も与えてはならない
直ちに医師の診察を受けること。

吸入した場合： 空気の新鮮な場所へ移動させること
呼吸をしていない場合は、人工呼吸をする
呼吸が困難な場合、酸素を与えること。
発症したり症状が持続する場合、医師の診察を受けること。

５．火災時の措置

適切な消火剤: 泡、乾燥化学物質または二酸化炭素。

火災時の特有の危険有害性: 炭素酸化物
窒素酸化物

消火活動を行うものの特別な保護具及び予防措置: 自給式呼吸器および turn-out gear の様な全身保護服を着用すること。カートリッジ呼吸マスクは消防員の防護または発熱の軽減に適切でない。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 皮膚および眼への接触を避けること。

保護具を着用すること。
十分な換気を保つこと。

環境に対する注意事項 製品が下水または排水溝に入らないようにすること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材: 全ての点火源を排除すること。

適切な換気装置を設置すること。
適切な個人用保護具を着用すること。
除去作業を行う時は、第８項の暴露防止及び保護措置を参照すること。
不活性な材質のもので吸収する（例えば、砂、シリカゲル、酸性バインダー、一般的なバインダー、おがくず）。
廃棄するまで密閉できる容器に隙間を空けて入れ保管する。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱い注意事項　眼、皮膚、衣服に付着しないようにすること。蒸気やミストを吸入しないこと。
使用後はよく洗うこと。

容器は密閉しておくこと

保管:

安全な保管条件:　しっかりした換気／排気を確保すること。
点火源に近づけないこと。
容器をしっかり密封しておくこと。
18 ° C - 25 ° C
技術資料を参照すること

８．暴露防止及び保護措置

管理濃度

日本産業衛生学会

成分【規制物質】	ppm	mg/m³	値型	短期暴露限界カテゴリー/備考	Regulatory list
アセトン [アセトン]	500		管理濃度:		JPISHL OEL
アセトン [アセトン]	200	470	時間荷重平均(TWA):		JPJSOH OEL

管理濃度

参考

成分【規制物質】	ppm	mg/m³	値型	短期暴露限界カテゴリー/備考	Regulatory list
アセトン	250		時間加重平均（TWA）：		ACGIH
アセトン	500		短時間ばく露限度（STEL）：		ACGIH

設備対策: 通常の換気で暴露限度以下の蒸気濃度を保つことが出来ない場合は、局所排気装置を使用すること。

保護具：

呼吸用保護具: 十分な換気を保つこと。
換気状態の悪い場所でこの製品を扱う場合は認可された呼吸マスクや有機蒸気カートリッジ付呼吸保護具を使う。

手の保護具： 適切な保護手袋

眼の保護具: 飛沫の危険がある場合はサイドシールド付きの安全眼鏡もしくは化学的安全ゴーグルを着用すること。

皮膚及び身体の保護具: 適切な保護服を着用すること。

９．物理的及び化学的性質

物理的状態：	液体	色：	無色，から，わずかに，琥珀色
		臭い:	アセトン
pH：	データ無し/対象外	融点：	データ無し/対象外
沸点：	57 ° C (134.6 ° F)	密度：	0.79 g/cm3
蒸気密度：	データ無し/対象外	蒸気圧:	データ無し/対象外
引火点:	-17 ° C (1.4 ° F)		
爆発範囲（下限）：	データ無し/対象外	爆発範囲（上限）：	データ無し/対象外
水への溶解度	データ無し/対象外	粘度：	データ無し/対象外
自然発火点:	データ無し/対象外	可燃性:	データ無し/対象外
オクタノール/水分配係数	データ無し/対象外	分解温度:	データ無し/対象外
粒子特性	データ無し/対象外		

１０．安定性及び反応性

安定性：

反応性:
強酸化剤
強塩基
酸
還元剤

化学的安定性: 常温常圧下においては安定
避けるべき条件 熱、ガス、火花および他の点火源。

混触危険物質: 反応性の項を参照すること。

危険有害な分解生成物：
炭素酸化物
毒性ガス
刺激性の蒸気

１１．有害性情報

11.1. 毒物学的影響情報

急性毒性（経口）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
アセトン	LD 50	5.2 g/kg	マウス	
アセトン	LD 50	3,000 mg/kg	マウス	
アセトン	LD 50	5,340 mg/kg	ウサギ	
アセトン	LD 50	5,800 mg/kg	ラット	
アセトン	LD 50	9,800 mg/kg	ラット	
アセトン	LD50	5,800 mg/kg	ラット	指定されていません

急性毒性（経皮）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
アセトン	LD 50	20,000 mg/kg	ウサギ	
アセトン	LD50	> 15,688 mg/kg	ウサギ	Draize test

急性毒性（吸入）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	試験環境	ばく露時間	種	試験方法
アセトン	LC	21300 ppm		3 h	ネコ	
アセトン	LCLo	110 mg/l		1 h	マウス	
アセトン	LCLo	16000 ppm		4 h	ラット	
アセトン	LC50	76 mg/l	蒸気	4 h	ラット	指定されていません
アセトン	LC 50	55700 ppm	蒸気	3 h	ラット	
アセトン	LOAEL（最小毒性レベル）	12000 ppm		4 h	ヒト	
アセトン	LC	46000 ppm		1 h	マウス	
アセトン	LOAEL（最小毒性レベル）	0.01 mg/l		6 h	ヒト	
アセトン	LC	42000 ppm			ラット	
アセトン	LC 50	132 mg/l	蒸気	3 h	ラット	
アセトン	LC 50	76 mg/l	蒸気	4 h	ラット	
アセトン	LC 50	50.1 mg/l	蒸気	4 h	ラット	
アセトン	LC	40000 ppm			モルモット	
アセトン	LC	126000 ppm		2 h	ラット	
アセトン	LOAEL（最小毒性レベル）	500 ppm			ヒト	

皮膚腐食性／刺激性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
アセトン	刺激性なし		モルモット	指定されていません

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
アセトン	刺激性		ウサギ	OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)

呼吸器又は皮膚感作性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	テストタイプ	種	試験方法
アセトン	not sensitising	Guinea pig maximisation test	モルモット	指定されていません

生殖細胞変異原性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	試験項目／管理経路	代謝活性化／ばく露時間	種	試験方法
アセトン	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)
アセトン	陰性	in vitro mammalian chromosome aberration test	有無		OECD Guideline 473 (In vitro Mammalian Chromosome Aberration Test)
アセトン	陰性	mammalian cell gene mutation assay	without		OECD Guideline 476 (In vitro Mammalian Cell Gene Mutation Test)
アセトン	陰性	oral: drinking water		マウス	指定されていません

発がん性

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

成分	結果	ばく露経路	ばく露時間 / 処置頻度	種	性別	試験方法
アセトン	not carcinogenic	皮膚	424 d 3 times per week	マウス	female	指定されていません

生殖毒性

データなし

特定標的臓器毒性（単回ばく露）:

データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：:

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果 / 値	ばく露経路	ばく露時間／処理頻度	種	試験方法
アセトン	NOAEL 900 mg/kg	oral: drinking water	13 w daily	ラット	OECD Guideline 408 (Repeated Dose 90-Day Oral Toxicity in Rodents)

誤えん有害性：

データなし

１２．環境影響情報

一般環境有害性情報:
下水管／地表水／地下水中に捨てないこと。

12.1. 生態毒性

毒性（魚）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
アセトン	LC50	8,120 mg/l	96 h	Pimephales promelas	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)

毒性（ミジンコ）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
アセトン	EC50	8,800 mg/l	48 h	Daphnia pulex	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)

水生無脊椎動物に対する慢性毒性

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
アセトン	NOEC	2,212 mg/l	28 d	Daphnia magna	OECD 211 (Daphnia magna, Reproduction Test)

毒性（藻類）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
アセトン	NOEC	530 mg/l	8 d	Microcystis aeruginosa	DIN 38412-09

微生物に対する毒性

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
アセトン	EC10	1,000 mg/l	30 min	Pseudomonas putida	DIN 38412, part 27 (Bacterial oxygen consumption test)

12.2. 残留性と分解性

有害物質	結果	テストタイプ	分解性	ばく露時間	試験方法
アセトン	readily biodegradable	aerobic	81 - 92 %	30 d	EU Method C.4-E (Determination of the "Ready" BiodegradabilityClosed Bottle Test)

12.3. 生態蓄積性

有害物質	生物濃縮係数	ばく露時間	温度	種	試験方法
アセトン		11 h	9 ° C	コダラ、成体	

12.4. 土壌中の移動性

有害物質	LogPow	温度	試験方法
アセトン	-0.24		OECD Guideline 107 (Partition Coefficient (n-octanol / water), Shake Flask Method)

12.5. PBTおよびvPvB評価の結果

この混合物には、PBTまたはvPvBと評価される物質は含まれていません。

12.6. 他の有害影響

データなし

１３．廃棄上の注意

推奨廃棄方法: 下水管／地表水／地下水中に捨てないこと。
国及び地方自治体の規則に従って廃棄すること。

汚染容器包装の廃棄方法:: 国及び地方自治体の規則に従って廃棄すること。

１４．輸送上の注意

Marine transport IMDG:

Class: 3
Packing group: II

UN no.:	1090
Label:	3
EmS:	F-E,S-D
Seawater pollutant:	-
Proper shipping name:	ACETONE

Air transport IATA:

Class:	3
Packing group:	II
Packing instructions (passenger)	353
Packing instructions (cargo)	364
UN no.:	1090
Label:	3
Proper shipping name:	Acetone

国内輸送規制:
陸上輸送：消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に該当する場合は定められている運送方法に従う。
海上輸送：船舶安全法に定められている運送法法に従う。
航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。

`１５．適用法令

労働安全衛生法：

名称等を通知すべき有害物	アセトン
名称等を表示すべき有害物	アセトン
第2種有機溶剤等	アセトン

消防法	第4類引火性液体,第4類　第1石油類(水溶性)
毒物及び劇物取締法：	該当しない
PRTR 法：	該当しない

１６．その他の情報

発行日: 28.04.2025

注意::

この安全性データシートは日本工業規格（JIS: Z 7253）に基づいて作成しており、日本の法律にのみ則った情報を提供しております。他の管轄地域又は国の実体法または輸出法に関しては、いかなる種類の表明又は保証も行いません。ここに提供している情報が他の管轄地域の実質的な輸出又はその他の法令に準拠していることを輸出前に確認して下さい。ご不明な点がございましたらHenkel Product Safety and Regulatory Affairsにお問い合わせ下さい。

この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。
ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、 明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含む、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。